白糸財産区だより
第 35 号
令和６年１月１日
発行　白糸財産区
印刷　㈱緑星社

年頭によせて

富士宮市白糸財産区管理者
富士宮市長　須藤 秀忠

新年明けましておめでとうございます。

白糸財産区の皆様方におかれましては、輝かしい新春を迎えられ、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、財産区の管理運営はもとより、市政への多大なる御理解、御協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

市では、昨年、富士山の世界文化遺産登録10周年の節目の年を迎えました。

構成資産であります、白糸ノ滝エリアに於きましては、霊峰富士を背景に、「音止の滝」を眺望できる新たな『展望場』が、9月に完成いたしました。今後も、当地を含む北部地域のさらなる活性化策を進めて参りますので、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、財産区の皆様におかれましては、長い年月をかけて地域の区有林を、責任を持って守り、今日の繁栄を維持して来られ、県下でも有数の質の高い木材産地となりました。

その成果として、白糸財産区の管理する森林は、日本森林協会の厳しい基準を満たし、優良な森林に与えられる「SGEC認証」と言う称号を得られ、本市の林業振興に対し、多大なる貢献をいただいており誠に感謝申し上げます。

近年、気候変動の影響による、豪雨など自然災害が増加しておりますが、当地域では、自然環境に対して、森林の持つ役割が大きく果たされ、災害から地域を守る多面的機能が発揮され、また、気候変動対策として二酸化炭素の削減にも、大きく寄与しております。

富士宮市は「富士山の恵みを、次世代につなぐ地球にやさしいまち」を目標とする都市像に掲げ、その実現に向け取り組んでおりますが、市域の65％を森林が占める本市にとりまして、山林の保全活動など環境対策は重要な施策となります。

先人たちより継承されて参りました白糸財産区の区有林は、全国の財産区や林業関係者が視察に訪れるなど、保全管理に関して他地域の模範となっております。

これまで区有林を大切に守り、育ててこられた財産区議員の皆様をはじめ、白糸地区の皆様に改めて敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

結びに、白糸地区の益々の御発展を心より祈念申し上げますとともに、皆様の御健勝と御多幸をお祈りし、新年の御挨拶といたします。

白糸財産区有林の学習

白糸財産区議会議長　佐藤 俊治

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

白糸財産区有林が持つ多面的機能を継続的に発揮するには、持続的な森林管理が欠かせません。それは、伐採・植栽・保育・間伐を繰り返すなどの適正な森林管理を行っていくことが必要です。

区有林も皆伐の時期を迎えている箇所もありますが、木材市場の販売価格はウッドショック以来なかなか黒字になる見込みがたちません。

そこで、国・県の補助金給付対象になる間伐事業を行い、将来に託しております。

現在、区有林が学習の場として注目を集めております。昨年は白糸小学校5年生、鎌倉女子大付属小学校5年生、杣人の間伐体験など多くの小学生や大人が参加して、間伐の必要性やノコギリを使って支障木を伐採する体験を行っています。特に白糸小学校においては、5年生を対象に今後も白糸財産区有林を学習の場としていく事となっております。

先代の育てた山林に子供達が興味を持って勉強してくれることは、郷土発展のためにも大変ありがたいことだと思っております。私達も地域の子供と共に区有林を守り育てていく所存です。

今後とも区民の皆様の御協力をお願いいたします。

財産区の予算・決算

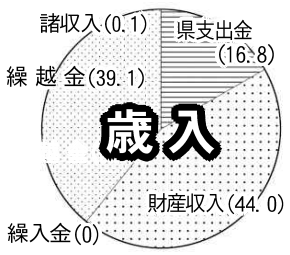
歳入　単位(千円)

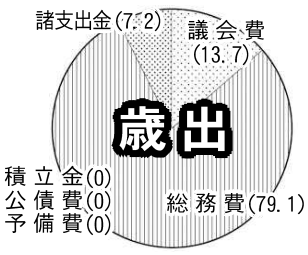
区分	令和5年度当初予算額	令和4年度決算額
県支出金	7,495	7,044
財産収入	21,327	18,503
繰入金	1	0
繰越金	12,770	16,452
諸収入	2	50
合計	41,595	42,049

歳出　単位(千円)

区分	令和5年度当初予算額	令和4年度決算額
議会費	4,495	3,973
総務費	34,280	22,932
積立金	1	0
公債費	1	0
諸支出金	1,500	2,082
予備費	1,318	0
合計	41,595	28,987

令和４年度決算の構成比（円グラフ）





財産区議員２期目にむけて

副議長　堤 昌之

新年あけましておめでとうございます。

日頃は区民の皆様の財産区活動への御理解、御協力ありがとうございます。財産区議員として2期目になりますが、まだまだ覚える事は山ほどあり、毎日が勉強であります。また、議員の皆様に推され、副議長を仰せつかりました。議長の補佐役として、一生懸命議員活動に務めております。

財産区議員の役割としては、定例議会、運営協議会、財産区有林パトロール、山の神の祭事、田貫湖キャンプ場運営委員会、天子の森キャンプ場運営委員会等があります。私たちの仕事は、与えられた任務を遂行することです。

昨年5月には視察研修にて、㈱ノダ富士川事業所での工場見学をしました。財産区有林からの木材が、どのような工程で製品化されるのかを目の前で視察し、規模の偉大さに感動いたしました。また、静岡県森林組合連合会富士事業所の所長より現況などの説明を頂き、大変参考になりました。

今後も、山林の管理はもちろんのこと、広大な財産区有林のパトロール、財産区運営の収支、林業管理について議員の立場で経験して、役立てていきます。

先人が長年にわたり管理・育成してきた財産区の山を守り、運営していく議員として、任期を全うしていきます。

区民の皆様方の御指導、御協力をお願い致します。

私の責務

白糸出張所長
中野　信男

新年あけましておめでとうございます。昨年の4月に白糸出張所長として就任いたしました中野信男と申します。出張所の職員は私を含め4人体制で業務を遂行しております。出張所は、証明書発行など地域の皆様の身近な窓口としての業務と白糸財産区の運営が主な業務となっております。

さて、白糸財産区は昭和33年の設立以来今年で66年目を迎えます。地域密着型である白糸財産区は森林認証（SGEC）を取得し、木材価格は、他の木材に比べ高い価格で取引されています。これは、木材の品質はもとより、樹木が育つ環境を整えることが重要視されている森林となっているためです。

今日まで先人たちが次世代に引き継ぐために、ひとかたあらぬ努力や地域を愛する強い心から現在の素晴らしい森林になったと強く感じています。これからも白糸財産区の森林が富士ヒノキの産地として全国の財産区や林業関係者の模範となるよう守ってまいります。

今後も、森林が作り出す恩恵を地域に還元することにより、地域内の交流と発展を図り、地域住民と一体となった森林づくりを進めていき、先人の思いを次世代まで末永く伝え、持続可能な森林経営を通じて、森林の持つ環境の保全と循環型社会の形成に貢献し、白糸財産区の歴史と伝統を継承していく、これが私の責務と感じております。

今後の財産区運営業務について、皆様の御理解、御協力をいただきながら着実に進めてまいります。

9月定例会

令和６年の春を迎えて

総務委員長
井出　光彦

令和６年あけましておめでとうございます。財産区議員となり、２年目の新春を迎えました。

財産区の運営に関し主要財源となる材木の価格も一時は上昇局面を見せていましたが、近年は底を這うような低価格の状態で推移しています。一方、物価の上昇は続いており、経費も年々上昇しています。令和４年度の決算を見ると、歳入総額４２０４万９千円に対し、歳出総額は２８９８万７千円で実質収支額は１３０６万２千円となりました。しかし、歳入内訳の中身を見ると前期からの繰越金１６４５万２千円があり、令和４年度は３００万円程度減少しています。今年度も、材木価格の低下による収支圧迫は、避けて通れないところであります。この様な状況下において、白糸財産区の方向性をもう一度考える時期になっていると思われます。

近年では、富士山周辺のキャンプ・グランピング・オフロード電動自転車・ウォーキングコース等、自然と触れ合うレジャーが盛んとなっております。森林環境に合わせた観光、レジャー事業の取り込みも収支改善の一助となると思います。議員全員の知恵を結集し白糸財産区の今後に寄与して行きたいと思います。

新年の御挨拶

総務委員
佐野健太郎

白糸区民の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

早いもので、白糸財産区議員を拝命してから1年以上経過しました。財産区議員の活動にもようやく慣れて来ましたが、まだまだ知識不足を感じています。今年は更に財産区議員の知識を広げられる様、邁進していく所存であります。

さて、今回は財産区議員の活動の一つである、白糸財産区有林パトロールについてご紹介します。パトロールは月２回、議員２名体制で行っています。内容としましては、不審物・不審車・不法投棄等の監視です。パトロールが終了するまでの時間は、車の移動を含め約１～２時間を要し、財産区有林の広さに驚きます。

この広域な財産区有林を守っていくためには白糸区民の皆様の御協力が不可欠ですので、今後も御協力を宜しくお願いいたします。

令和５年を振り返って

総務委員
馬飼野一正

新年明けましておめでとうございます。 区民の皆様には白糸財産区への御理解、御協力を賜り心より感謝申し上げます。議員となり、１年４ヶ月が経過しました。一年を振り返ると、山の神（年３回）、馬頭観音、水神さんの祭事を毎年開催しており、伝統を守り無事に事業が出来る感謝を忘れていない事に感銘を受けました。一年を通しての区有林パトロールについては、毎回異なった山の姿を肌で感じ、今まで気付かなかった自然の変化を感じるようになりました。

また、令和５年６月23日に実施された、㈱ノダ富士川事業所・静岡県森林組合連合会富士事業所の視察では木材の流通について学び、森林認証(SGEC)を受けている白糸財産区有林の木材の品質の高さを改めて感じました。今後も木材市場での高い評価を維持するよう、尽力していきます。

本年につきましても、まだまだ勉強の日々ですが、先人が長年にわたり、管理・育成してきた財産区の山を守り運営していく所存です。区民の皆様方の御健康・御多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせて頂きます。

間伐材椪積

恐怖体験

営林委員長
小池日出人

明けましておめでとうございます。皆様に新春のお慶びを申し上げます。懸念通り材価の下落が続く中、静岡県森林組合連合会富士事業所の１１３３回市におきまして、我が白糸財産区のヒノキ元玉枝打ち材４ｍ末口40㎝１本が㎥当たり単価８万円の高値が付きました事をご報告致します。

去年の秋は全国津々浦々で熊の出没が報道されましたが、今回私の熊以外の動物遭遇時の恐怖体験談をお話しします。20年位前の10月頃、仕事の段取りに一人で山見していた時の事です。物音がしたのでふとそちらを見ると、あろう事か、一頭の若いカモシカが私の方に大跳躍してきたのです。突然の出来事に目を瞑ってやり過ごすしかありませんでした。

時間が経っても衝撃は無く無事でした。暫く身体の震えが止まらなかったのを覚えています。間違い無く正面衝突のコースでした。多分カモシカが衝突を避けて空中で態勢をかえて回避したのだと思います。労働災害の事例においても、カモシカに激突されたとの報告は聞いたことも無いもので、激突されていたなら極めて稀有な事例だと思います。もし衝突されていたらなら、このたよりも書いていないでしょう。

以上が私の恐怖体験でした。

さて、議員生活も２年目、ぼちぼちいろいろ分かって来たので今年も頑張ります。変わらぬ御支援の程宜しくお願い致します。

新年あけましておめでとうございます

営林委員
齋木　義弘

財産区議員となり早くも一年が経過し、年間スケジュールを経験し様々な体験をしました。定例議会、運営協議会、回を重ねて色々勉強になりました。まだまだ分からない事がありますが、一つずつ今後に生かせる様努力していきます。

議員による活動として、区有林のパトロールを二人一組で実施しています。内容としては、財産区区域内の状況、道路等の観察を行い、事務局への報告書を作成し、安全確保に努めています。

視察研修では、静岡県森林組合連合会及び㈱ノダ富士川事業所等の視察に参加しました。製造の工程の中で木材はどの様に仕分けるのか、又、木材として使用できない物は合板で活用する等、加工方法により最終的にさまざまな商品になることも大変勉強になりました。 議員のやるべき事はまだまだあると思いますが、区民の皆様の御理解と御協力、御指導を頂き引き続き努力していきたいと思います。

2年目の財産区委員

営林委員
秋山　徳浩

新年明けましておめでとうございます。区民の皆様方いかがお過ごしでしょうか？コロナ、インフルエンザなど気を緩められない状況が続いていますので、健康には十分お気を付けください。

さて、議員になり財産区有林のパトロール、運営協議会、定例会、山の神・馬頭観音・水神さんの祭事等に携わることで、白糸の山に対する思いが強くなりました。普段はマス池の中で仕事をするのが日課なのですが、山では水圧とは違う何か、重圧感を覚えます。

議員による林道の路面補修作業では、慣れないコンクリート打設を行いました。

〝同志〟になれた気がしました。

議員の皆様方、白糸財産区の管理・運営を引き続きよろしくお願いいたします。また、区民の皆様方には、今後も財産区への御理解、御協力をお願いいたします。

白糸財産区議員２年

営林委員
伊原　謙治

新年あけましておめでとうございます。本年が皆様にとって、幸多き年でありますよう祈念いたします。

さて、白糸財産区議員として１年が経過し、２年目に入りました。１年目は、ただただ覚えることが多く、ついていくのが精一杯でしたが、一年が経過し多少ですが財産区全般に対する知識が増え、物事に対して細事に考えることが出来るようになりました。 議員として、白糸財産区の山を守り、優良な木材を搬出し、地域経済に貢献する事、又、山を管理し保全する事によって、循環型社会の形成に貢献し、脱酸素社会の実現につなげる事、これらを目標と考え行動し、白糸の利益になるよう努力したいと思います。

また、当番制で3ヶ月に一度実施している財産区有林のパトロールについて、最近では27㎞の行程を楽しみにしています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

間伐と作業道

白糸財産区に携わって

土木委員長
植松　正巳

新年明けましておめでとうございます。皆様方の今年一年が、ご多幸でありますよう、心より御祈念申し上げます。原区一町内の財産区議員として推挙していただき、財産区議員会に携わらせていただきました。

財産区有林パトロールをしておりますと、近年の集中豪雨などにより林道を通行するのに支障がある箇所が確認されました。このようなことから、少しずつコンクリート舗装をし、山の管理を次の世代に繋いでいけるよう尽力していきたいと思います。

また、㈱ノダ合板へ視察に行った際、先人達が大切に育てた木々が、大きな工場で立派な合板となっていく姿を目の当たりにしました。改めて財産区議員としての責務を全うしなければ…と身が引き締まる思いが致しました。

大倉川ダム西から田貫湖西の山までの広大な白糸の森林を、次世代に伝え、環境保全に貢献して頑張っていきたいと思います。まだまだ勉強の日々ですが、御指導と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます

土木委員
筒井　一夫

一年を振り返って、㈱ノダと静岡県森林組合連合会富士事業所を視察研修したり、財産区議員の奉仕作業としては、原材料支給による生コンクリートで林道整備を行ったり、木材の利用状況など色々なことを学びました。

また、財産区議員2名体制で月2回実施している区有林パトロールでは、区有林内の安全確保に努めています。山の神・馬頭観音・水神さんの祭事などの年間行事もあり、まだまだ勉強の日々ですが、長年に渡り管理・育成してきた白糸財産区の山を守ることが、私たち議員の役目だと認識しています。

富士山世界遺産センターでは白糸のヒノキを使っており、白糸の杉・ヒノキが名木となっています。今後も、森林環境をつなげていくために努力したいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

１年経過して

土木委員
渡邊　敏一

議員になり一年が経過致しました。㈱ノダ・県森連富士事業所の視察、研修を経験し、木材の取引や加工を目で見て、肌で感じることが出来ました。

日本国土の7割が森林であり、そのうち人の手によって植えられた森林(人工林)が4割をしめています。多くの資源を輸入に頼る日本で、森林は山と水と太陽の光があれば手に入る唯一の資源といえるでしょう。

森林の働きとしては、地面に雨を蓄えてきれいな水にしたり、空気を清潔にしたり、木の根が災害を防ぐ等、様々な健全な役割を持っています。

木材を生産するまでには植林をし、下草刈、枝打、間伐、伐採まで数10年がかかり、その間は保全、森林管理が必要であり、一人ではなく世代を超えて見守り続けていかなければならないのです。

木材は、温かみ・快適さ・リラックス効果を感じ、心が安らぐ効果があると言われています。現在も生活の中に木材はありますが、まだまだ沢山の活用が出来ると考えます。

持続可能な森林経営を目指す中、しっかりと管理された白糸財産区有林にかかわる議員の一人として、これからも森林環境の保全と循環型社会の形成に貢献していきます。